

「セルフディスカバリー」学習指導案

指導者 和歌山県立有田中央高等学校  
教諭 金山卓史

- 1.日時 平成 25 年 10 月 25 日（金）第 3 限目
- 2.場所 2 年 6 組教室
- 3.学年 2 年 6 組（21 名）
- 4.生徒観 授業に臨む姿勢は前向きだが、集中力を持続できない生徒もいる。また、自分が取り組む問題を見つけることに苦手意識を持っている生徒が多い。よって、自己認識力を身に付けさせ、主体性を育みたい。
- 5.単元 自己表現
- 6.単元目標 グループエンカウンターを活用したコミュニケーション能力向上を目指し、わかりやすく伝える力や相手の話を正確に聴く力を養う。
- 7.本時の目標 高校生活で学んだことについて考え、その考えを深めると共に進路意識を高める。
- 8.本時の創意工夫（5 観点について①～⑤）
  - ① 本時の学習内容を示す。
  - ② 自己について考察できるようにワークシートを用いる。
  - ③ 個人学習で自分自身について思案する機会を設ける。
  - ④ 自分の考えを導き出す姿勢を育むとともに、振り返り作業を取り入れて、自己認識を深める。
  - ⑤ 授業の前後に準備物を確認し、服装を正す指導をする。

9.本時の展開

|             | 学習内容  | 学習活動（生徒の活動）   | ・指導の留意点*支援<br>（教師の活動）  | 学習<br>形態           | 創意工夫<br>①～<br>⑤ |
|-------------|---|---|--|--------------------|-----------------|
| 導<br>入      | ・礼<br>・本日の学習<br>内容につ<br>いて                          | ・本時の学習内容を確認する。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">有田中央高校で頑張っていることは何ですか？</div>   | ・本時の内容を説明する。<br><br>・ワークシートを配布する。  | 全体                 | ①<br>⑤          |
| 展<br>開      | ・例文をもと<br>に意見を<br>交流。<br><br>・高校生活で<br>学べるこ<br>は何か？ | ・各自で例文を読み、良かった点を考え、メモする。<br>・グループで意見交流を行い、発表する。<br><br>・系列授業、クラブ、生徒会、様々な行事があり、その中でどんなことを「学べたのか」考える。<br><br>・書けた生徒は、より具体的に深める。<br><br>・書けていない生徒は、なぜ書けてないのか考える。 | ・「なぜ？」を考えるように指示する。<br>・他の人の意見をメモするように指示する。<br><br>・学校生活の中で、どのようなことが「学べるのか」を説明する。<br>*机間巡視<br><br>・書けない生徒には別紙ワークシートを配布し、自分の経験を出させ、考えをまとめさせる。<br>*個別指導 | グル<br>ープ<br><br>個人 | ②<br>③          |
|             |   | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">なぜ企業や学校は、「高校生活で頑張ったこと」を知りたいと思うのか？</div>   | ・なぜ知りたいかを考える。<br>*机間巡視   |                    |                 |
| ま<br>と<br>め | ・本時のま<br>と<br>め<br>・次回の説明<br>・礼                     | ・本時の内容を振り返る。<br>・次回の内容を確認する。  | ・本時の内容を振り返らせる。<br>・次回の内容を説明する。   | 個人<br><br>全体       | ④<br>⑤          |